

製品名: GPR37 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11678**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	GPR37
別名	GPR37; Probable G-protein coupled receptor 37; Endothelin B receptor-like protein 1; ETBR-LP-1; Parkin-associated endothelin receptor-like receptor; PAELR
遺伝子 ID	2861.0
SwissProt ID	O15354
免疫原	抗血清はヒト GPR37 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

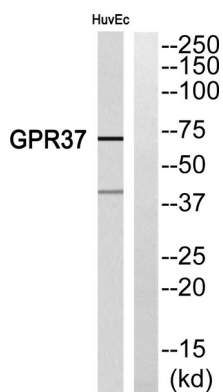
この遺伝子は G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。コードされているタンパク質は 7つの膜貫通ドメインを含み、細

胞膜および小胞体膜に存在します。G タンパク質共役受容体は、外部からのシグナルを G タンパク質を介した細胞内効果に変換する役割を担っています。この遺伝子産物はパーキンと相互作用し、若年性パーキンソン病に関与しています。[RefSeq 提供、2012 年 10 月],機能: オーフアン受容体。中枢神経系において特有の機能的役割を担っている可能性があります。、翻訳後修飾: 小胞体において、UBE2E1 および UBE2L3 の存在下で PARK2 によってユビキチン化されます。アンフォールディングされた形態は SYVN1 によって特異的にユビキチン化され、プロテアソームによる分解を促進し、神経細胞死を予防する。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、サブユニット: PARK2、STUB1、HSP70 と複合体を形成する。複合体中の STUB1 の量は、ER ストレス時に増加する。STUB1 は HSP70 と PARK2 の解離を促進し、PARK2 を介した GPR37 のユビキチン化を促進する。PACRG と相互作用する。、組織特異性: 脳と脊髄で発現し、精巣、胎盤、肝臓でも低レベルで発現するが、他の組織では検出されない。細胞内で過剰発現すると、不溶性となり、アンフォールディングされる傾向がある。若年性パーキンソン病 (PDJ) では、アンフォールディングされたタンパク質の蓄積がドーパミン作動性神経細胞死につながる可能性がある。、

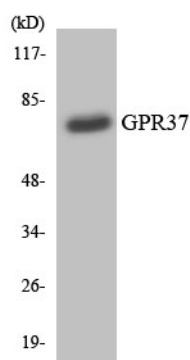
研究分野

パーキンソン病;

画像データ



GPR37 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが GPR37 ペプチドでブロッキングされている。



GPR37 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。